

第1章:ITの基礎

この章では研修中はもちろんですが、実務に入ってからでも当たり前のように出てくるワードを説明します。

IT用語もたくさんありますが、要点だけまとめて説明します。

データ型

人が「123...」を見て数字、「abc...」を見て文字と答えるように、データにも似た概念があります。

例えば、「1」をデータとして保存または扱う時に、この「1」が数字なのか、文字なのかを決めなくてはなりません。

データの種類の総称を"データ型"と言います。データ型には数値型、文字列型、論理型（true,false）などがあります。

変数

変数とは簡単に説明するとデータを格納する箱のようなものです。

任意の名前を付けることだけで、プログラミング言語のよっては変数に先ほど説明したデータ型を定義することもあります。

変数に値を格納することを「代入」と言います。

```
// JavaScriptで書くと以下ようになります。
// "John"と言う文字を"name"と言う変数に代入してます
var name = "John"

// console.log()はカッコ内に書かれた文字、変数を実行した時に表示します。変数の場合は変数に代入されたものを展開して表示します。
// ※詳しくは別の章で説明します
console.log(name)
=> John
```

配列

先ほど説明した変数に複数の値を代入したいことがあります。

1つずつ変数を用意して代入もできますがそれはあまりにも冗長なので、そのような時に使うのが配列です。

ここで詳しく説明すると覚え切れないので別な章で説明します。

```
var food = ['パン', '牛乳', 'チーズ', 'ハム', '麺'];
```

オブジェクト指向

オブジェクト指向は「概念」なので明確な説明はかなり難しいです。（オブジェクト指向についての本が出るくらいです。）

簡単に説明するとデータを人間の世界のモノや言葉で表現して取り扱われます。

```
// personと言う変数の中にname, age, gender, workと言うオブジェクトが存在し、それぞれのオブジェクトに値を持たせています
これについても別な章で詳しく説明します。
var person = {
  name: 'John',
  age: 32,
  gender: 'men',
  work: 'engineer',
}
```

ディレクトリ

フォルダーはよく耳にしますがそれと同じ意味です。

ルートディレクトリ

下記のようなファイル構造があるとします。（Macの場合）

```
// 左が大元のディレクトリ、右に行くほどディレクトリーの階層が下がる
/Users/username/workspace/HTML/style/style.css
```

ディレクトリーの大元をルートディレクトリと言います。

カレントディレクトリー

現在操作対象としているディレクトリーをカレントディレクトリーと言います。例:上記のディレクトリー階層の"HTML"フォルダー操作対象としている場合、カレントディレクターは"HTML"です。

パスの指定

HTMLだとCSSファイルの参照を行う時とかに「パスの指定」と言ったワードをよく使います。パスの指定は2種類あるので紹介します。

絶対パス

ルートディレクトリから目的のフォルダーまたは、ファイルまでのパスを書いたもの

```
// 絶対パス
/Users/username/workspace/HTML/style/style.css
```

相対パス

カレントディレクトリーから目的のフォルダーまたは、ファイルまでのパスを書いたもの

```
// 相対パス(HTMLをカレントディレクトリーとした場合)
./style/style.css
```

"./"はstyleディレクトリーと同じ階層を意味し、1つ上の階層から参照する場合は"../"と書く

*ファイルや画像を参照する時は相対パスで書くこと。絶対パスだと環境依存するので違う人のPCで開くとエラーを起こす。

DB

データベースの略称"ディービー"や"デュービー"と呼ぶ人も居る。そのサービスのデータを保存している所。

サーバーサイドエンジニアが触るので使えるようになる必要はあまりありませんが、この言葉を聞いたら「あああそこねー」と覚えるくらいで大丈夫です。

*ある程度余裕ができて勉強しておくともバックエンドエンジニアとのコミュニケーションはスムーズになります。

レビュー

- ・ "JavaScript データ型"と調べてデータ型を3つ調べてください
- ・ 変数に値を格納する時の用語は？
- ・ ディレクトリとは？
- ・ 絶対パスとは？
- ・ 相対パスとは？